

医療・介護連携シートについて(案)

平成29年9月27日
高齢施策担当部
高齢者支援課

医療・介護連携シートの活用

- 区では、高齢者が地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援がその人に合わせて一体的に提供される地域包括ケアシステムの確立を目指している。
- 医療と介護の連携を促進するため、「医療・介護連携シート」を平成27年11月より配布を開始した。

配布状況（平成29年8月末まで）

- 高齢者相談センター 3,800部
- 居宅介護支援事業所 8,260部
- 医師会、歯科医師会、薬剤師会会員 1,120部
- その他（病院、診療所、イベント） 220部

配布の効果

利用者の声

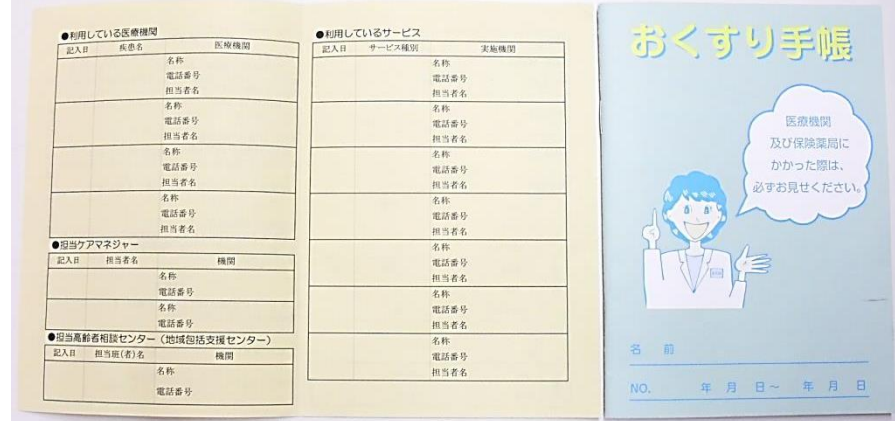
- 「緊急搬送時に連絡先がわかる」
- 「災害時にも有効」
- 「寝たきりでも使いたい」

一方で…

- 「医療機関の窓口等では、まだ目にする機会が少ない」

退院連携にかかる意見交換会では…

- 「病院では、おくすり手帳を必ず確認している。添付されていた連携シートでケアマネジャーがわかりスムーズに対応できたケースがあった。もっと普及を図るべき」



今後の取組について

- 高齢者相談センターおよび居宅介護支援事業所から配布している医療・介護連携シートを薬剤師会会員の薬局からおくすり手帳と一緒に配布することで一層の普及を図ってはどうか。
- 薬剤師会との協議により薬剤師会発行のおくすり手帳に連携シートの内容を掲載し、活用を図ってはどうか。
- 薬局等での患者の認知症への気づきから地域包括支援センターの相談につながる仕組みを築いてはどうか。

スケジュール案

- 平成29年 9月 認知症専門部会で検討
- 平成29年10月～ 薬剤師会の承認および会員への周知、配布方法等検討
準備が整い次第配布開始
※増刷 平成29年度分 5,000部予定
- 平成30年 4月以降 薬剤師会発行おくすり手帳に掲載もしくは添付
※地域包括支援センター等からの配布も継続